

ウガンダでの Kansai Anti-Mosquito Paint 上市の件

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博 社長 CEO）の子会社である Kansai Plascon Africa は、昨日、ウガンダ共和国（以下、ウガンダ）の首都カンパラにおいて、防蚊塗料「Kansai Anti-Mosquito Paint（カンサイ・アンチモスキート・ペイント）」の上市を発表いたしました。

この製品は、2021年までにモロッコに続くマラリア撲滅国となることを目指すウガンダにおいて、蚊をノックダウンする技術により、マラリアの感染予防の効果をもたらす画期的な内装用塗料です。

アフリカでは、マラリア対策として、蚊帳や予防薬、殺虫剤散布などが使用されてきましたが、依然として毎年100万人以上の方が亡くなっています。この状況に対し、Kansai Plascon社は、ウガンダ保健省やその他関連機関・ステークホルダーとの官民連携の取り組みを重ね、この画期的な製品を開発し、作り上げてきました。

この Kansai Anti-Mosquito Paint は、耐久性に優れ、多様な色彩を持ち、特に住宅や公共施設、商業施設の壁や天井などでご使用いただけるよう設計されており、人や環境に安全なものです。

加えて、ウガンダ保健省やその他関連機関の認証品でもあります。

本製品の特徴である蚊のノックダウン機能とは、壁面に接触することで、蚊の神経系を麻痺させ、壁に留まったり、遠くに飛ぶ能力を低下させ、結果としてノックダウンさせるというものです。

そして、この効果は2年間続き、マラリアや蚊の媒介するその他の感染症から、持続的に護られるという効果をもたらします。

マラリアは、アフリカで最も深刻な感染症の一つであることに加え、児童、生徒が学校を欠席する理由の半分を占め、経済にも悪影響を及ぼしています。マラリア根絶を目的とした団体 Malaria No More は、マラリアが10%減少すればGDPが3%増加すると発表しました。マラリアの減少は子どもたちの登校へ繋がるため、両親が働けるようになり、また薬や健康管理の支出を減らすことに繋がります。更に Malaria No More によると、マラリアは5歳以下の小児の主要な死因となっています。

今回の上市を機に、Kansai Plascon社では、マラリア被害が大きく、恵まれない地域へ塗料を寄付する「Hold my Hand to 5」キャンペーンを開始します。



<Kansai Plascon 社 地域マーケティングマネージャー Lungi Koni コメント>

『Hold my Hand to 5』キャンペーンは、マラリアの犠牲者として最も弱者である子どもたちの窮状に着目いただくことを目的としています。Kansai Plascon 社は、政府や NGO、民間セクターとの強固な協力関係を構築し、キャンペーンが永続的・総合的な効果をもたらすよう推奨してまいります。

この画期的な塗料である Kansai Anti-Mosquito Paint により人の命が助かり、家族や地域社会の安全を護ることで、関西ペイントグループとして人々の健康を保つこと、そして結果としてより健全な経済がアフリカで創造されることへの貢献を目指してまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

関西ペイント株式会社 社長室 副室長 阿部 かるばな

TEL : 06-6203-5531 FAX : 06-6203-5018